

る。これは、従来の神戸事務局や京都事務局に似てゐるが、地方的産業別組合が確立された場合には、それは、純粹の協働機關になる。

(ル)この地方的産業別組合の樹立は、本大會終了後、各地方評議會に於て直ちに準備にとりかかり、遅くも今年十月頃までには完成するやうにすべきである。

### ○青年協議會結成に關する方針(第二分冊)

#### ○機關雜誌刊行に關する件 朝日 後藤 淡明

##### A 機關雜誌は何故必要か?

(イ)戰時的機關雜誌を刊行しろ!といふ要求は、各地の青年闘士の長い間の熱烈なる要求である。で本部は、愈々機關雜誌刊行の具體案を決定し、本大會に提出するものである。

(ホ)また、機關新聞が、せめて週刊にでもならなければ、全國的政治、經濟、狀態の報告が、どうしても不十分になりがちなから、それを補ふためにも機關雜誌を持つことは便利である。

##### B 當面計畫されてゐる機關雜誌の性質

(イ)我々の刊行すべき機關雜誌は、當面、指導者のための『理論雜誌』と一般大衆に對する『啓蒙雜誌』と、この二つの性質を兼ね備へたものにするのが一番よいと思ふ。

(ロ)雜誌の内容は次のやうなものによつて構成する。

- 一、政治、經濟、狀態、國內の、並に國際的の報導、批判。
- 二、國內、國際無産階級運動の動向に對する批判、分析。
- 三、指導論文(當面の、政治、經濟闘争の指導を目的とした論文)
- 四、闘争報告(全國各地の政治、經濟闘争の報告)
- 五、解説(時事問題、一般階級理論、社會運動史、等の解説)
- 六、資料(各種統計その他)

六、資料(各種統計その他)

(ロ)機關新聞のほかは何故機關雜誌が必要か?それには色々の理由があるが、主として次の理由を擧げることが出来る。

一、機關新聞は、より多く煽動的役割を果すが、機關雜誌はより多く宣傳的役割を果す。

二、機關新聞よりは遙かにマトマツた報告を爲すことが出来る。(國際的、全國的、狀態の報告、ストライキ、その他のカンパの報告、等)

(ハ)現在の總評の機關新聞は、新聞的性質と雜誌的性質と兼てゐるやうなかつこうになつてゐる。これは機關雜誌が刊行されないかぎりやむを得ないことだが、どうも具合が悪い『新聞に、餘りムツカシイ論文が多すぎ』るといふ意見をよく聞かされるが、それは肯定すべき非難だ。新聞が餘りムツカシイと、たしかに一般大衆が親しまなくなる。

(ニ)しかし、組合のすべての指導者が、刻々に生起する問題に對してハッキリしたマルクス主義的認識を持ち、本部のあらゆる方針に對して、その理論的根柢を明確に知つて置くことは絶対に必要だ。だから我々は、機關新聞のほかにも、どうしても機關雜誌を持つ必要がある。

七、各地の闘争逸話、傳記、等々

##### C 配布方法其の他

###### (一)配布の方法——

一、組合の機關を通じて全組合員に購読せしめること。

二、組合のオルグを通じて未組織大衆の中へ持ち込むこと。

三、書店を通じて、市場へ出すこと。

四、地方評議會並に各組合本部、支部、分會へ責任者を置き、配布調を確立すること。

(二)發行回数——毎月一回、機關新聞と並行して發行すること。雜誌は一日發行、機關新聞は二十日發行)

(ホ)定價——一部二十錢

(ハ)頁數——菊判約六十頁

(ト)雜誌名——未定

(チ)會計——雜誌の會計は獨立會計とする。

##### D いつから發行するか?

(イ)雜誌を發行するには、少くも基金千圓を必要とする。